

8 東部ブロック

（1）地域づくりの目標

① 地域の概況

東部ブロックは、花田・四郷・御国野・別所・谷外・谷内校区からなる地域です。

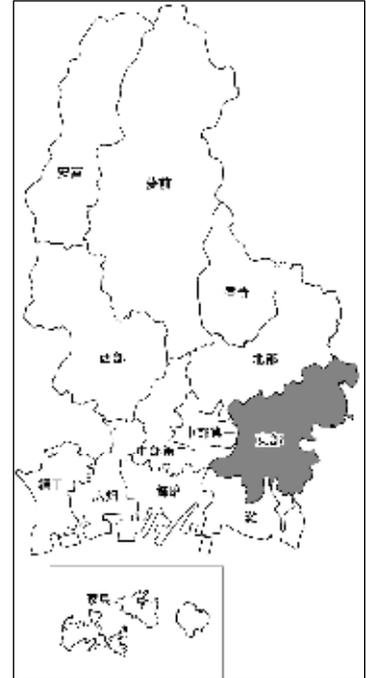
市川を挟み中心市街地と隣接する位置にあり、姫路市街地の外郭をなす緑の山並みに接するとともに、農業振興地域の指定がある豊かな農用地など、水と緑豊かな住宅地を形成しています。

地域は大きく分けて市川左岸から国道線（国道2号）沿いにかけての市街地地域、巡礼街道に沿った北側谷筋の丘陵・田園地域に大きく区分されます。

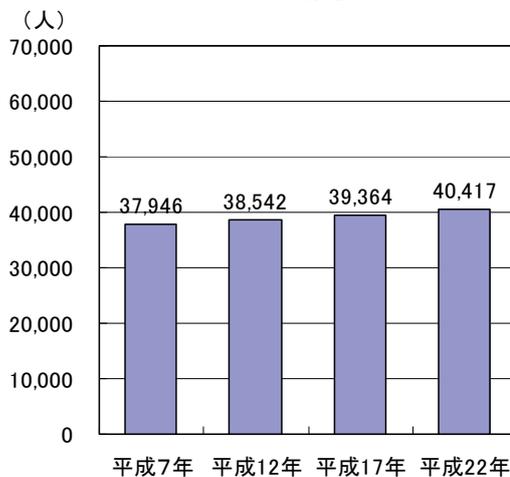
奈良時代には播磨国分寺が置かれ、室町時代の御着城跡や古墳時代の壇場山古墳群など史跡も多く、播磨の政治、文化の中心地として古くから栄えた地域といえます。

地域東端の別所地区では、貨物基地の移転を契機として、平成3年に着手した土地区画整理事業が完了し、平成17年にはJRひめじ別所駅が開業するなど、計画的な都市施設の整備が行われていますが、全体的には面的な市街地整備が進んでいません。一部で都市計画道路が整備されているものの、狭小道路や住工混在による住環境の改善が課題となっている地区があります。

市域東部の玄関口として、山陽自動車道の姫路東インターチェンジや播但連絡道路の花田インターチェンジ等が設置されています。花田インターチェンジ周辺では、交通の利便性を生かした流通業務施設の立地がみられます。

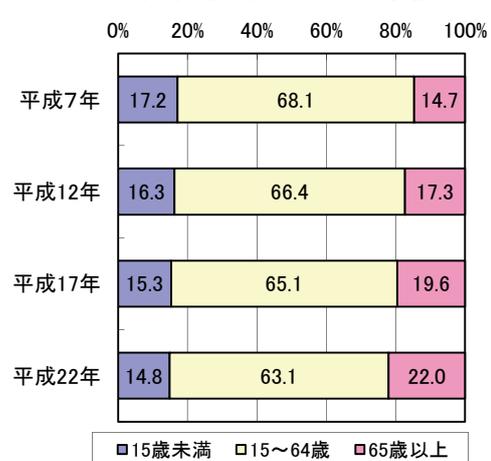


■ 人口の推移



資料：国勢調査

■ 年齢3区分別人口の推移



資料：国勢調査

② 地域づくりのテーマ

風土記のさと・水と緑に囲まれた緑住都市

③ 地域づくりの目標

◇ 水と緑と歴史のネットワークづくり

市街地の外郭を縁取る山並みや農地等の自然空間と、播磨の中心地として栄えた数々の歴史文化遺産を活用し、地域活性化の仕掛けとなる水と緑と歴史のネットワークの形成を目指します。

◇ 姫路市の東玄関口にふさわしい拠点づくり

JRひめじ別所駅における駅周辺開発等を促進し、本市の東玄関口にふさわしい拠点の形成を目指します。

◇ 緑と調和したゆとりと潤いのある住宅市街地づくり

都心に近いにも関わらず身近に自然を感じられる地域の特性を生かし、周囲の緑と調和したゆとりと潤いのある住宅市街地の形成を目指します。



JRひめじ別所駅



市埋蔵文化財センター（まい姫）

（2）地域づくりの方針

① 拠点等

ア 地域核

- ・ J R 御着駅周辺地区を位置付けます。
- ・ 地域の拠点として、交通結節機能の向上を図るとともに、商業施設や行政施設の集積を図り、地域住民の日常生活における利便性を高めていきます。

イ 歴史街道軸

- ・ 西国街道や巡礼道等の古道を歴史街道軸として位置付け、歴史的町並みや史跡等の歴史文化遺産のほか、鉄道駅や学校等の施設を結ぶことにより、自然と歴史に触れることができる安全で快適な歩行者ネットワークを形成します。

② 土地利用

ア 商業系

- ・ J R ひめじ別所駅・御着駅周辺を商業業務地とし、公共交通の利便性等の向上とあわせて、商業施設や生活利便施設を誘導します。また、国道線（国道2号）沿道等についても、広域交通の利便性を生かした沿道型の商業業務地として位置付けます。

イ 工業系

- ・ 姫路工業団地及び周辺の内陸工業地では、引き続き工業地としての土地利用を図ります。

（インターチェンジ・ランプ周辺）

- ・ 姫路東インターチェンジ・花田インターチェンジ周辺や別所ランプ周辺において、無秩序な土地利用を整序、抑制しながら、インターチェンジ及びランプ周辺の特性を生かした流通業務施設や工業施設等の立地を適正に誘導します。

ウ 流通業務系

- ・ J R ひめじ別所駅の南側や花田インターチェンジ・別所ランプ周辺では、交通利便性を生かした流通業務系の土地利用を誘導します。

エ 住宅系

- ・ 別所地区の複合住宅地では、住機能と流通業務機能とが調和した緑豊かな住宅地の形成を図ります。また、地場産業が集積する職住近接型の複合住宅地では、工場跡地等における住宅の立地が散見されますが、引き続き工場と住宅との混在を許容する住宅地の形成を図ります。
- ・ 一般住宅地及び専用住宅地では、適切な道路等の整備及び土地利用の誘導を通じて、良好な住環境を備えた中低層住宅地又は低層住宅地の形成を図ります。

オ 保全系

- ・仁寿山等の市街地を取り囲む丘陵は、良好な都市環境や都市景観を形成する重要な緑として保全を図ります。
- ・天川及び明田川の流域に広がる農地については、農業振興地域に指定されており、農業基盤整備や集落の環境整備を図りつつ、集落景観等を創出する緑として保全、活用します。

③ 都市施設

ア 交通

ア) 公共交通

- ・JR御着駅については、外環状道路網を中心とした環状バスの段階的な導入を踏まえて、駅前広場の整備等を検討します。また、御着駅へのアクセス道路整備や通行規制の見直しによるアクセス性の向上を目指します。

イ) 道路

- ・環状放射道路を構成する御着線、国道線（国道2号）及び城北線（国道372号）等からなる幹線道路網の形成を図ります。また、将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画道路について、廃止を含めた見直しを行います。

イ 公園・緑地

- ・将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画公園・緑地については、廃止を含めた見直しを行います。また、身近に利用できる都市公園の整備を推進します。

ウ 下水道・河川

- ・四郷前処理場、高木前処理場など老朽化した下水道施設の長寿命化、計画的な更新を図ります。また、農業集落排水の公共下水道への統合を進め、改築更新費用及び維持管理費用の節減を図ります。
- ・二級河川である市川については、河川整備計画に基づき、氾濫時に大きな被害が予想される河口から生野橋までの区間の改修及び適切な維持管理を促進します。

④ 防災

- ・地域防災拠点として東出張所、飾東出張所、球技スポーツセンターを配置するとともに、各小学校をコミュニティ防災拠点として配置します。これらの施設については、耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。
- ・森林、緑地の持つ保水機能等の保全と土砂災害等の防止を図ります。

⑤ 景観

- ・旧集落を東西に繋ぐ西国街道沿道の歴史的町並みを、歴史的町並み景観形成ゾーンと

して位置付け、宿場町の歴史的景観を保全、継承を図ります。

- 景観形成上重要な建造物については、その保存、修復を図るとともに、まちづくりの中での活用を図ります。
- ふるさと歴史の広場として整備されている播磨国分寺跡については、播磨の中心地であった歴史を偲ばせる空間として保全を図ります。



土地利用		都市施設		
拠点商業業務地	一般住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路	主要公園・緑地・墓園
商業業務地	専用住宅地	幹線道路（環状）	歴史街道軸	一級・二級河川
工業地	農地・集落地	幹線道路（放射）	J R 線	水辺
複合住宅地	山地・丘陵	幹線道路（その他）	山陽電鉄	

■ 東部ブロックの将来像